

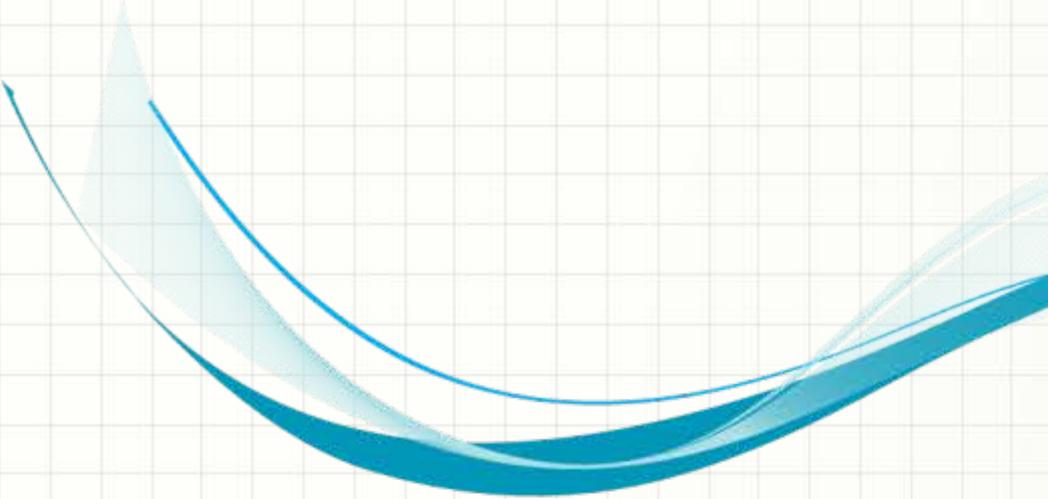


# 地(知)の拠点整備事業 シンポジウム

～地(知)の拠点整備から地方  
創生へ～



高知県中小企業家同友会  
事務局長 川竹大輔



# 1. 中小企業家同友会 とは？

# 1.1 会の紹介

中小企業の経営者・役員が、お互いの知識と経験を交流し、自社の近代化と強靱な経営体質づくりをめざす団体です。



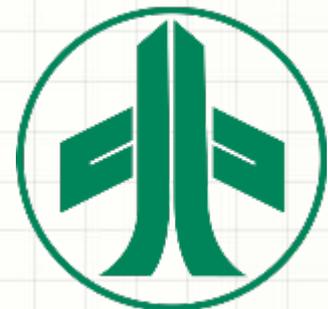
支部例会



県例会

## 1.2 同友会理念

- 同友会の三つの目的  
良い会社、良い経営者、良い経営環境
- 自主・民主・連帯の精神
- 国民や地域と共に歩む中小企業



## 1.3 会勢と全国組織

全国47都道府県に独立した各県同友会があり、全国連携組織として、「中小企業家同友会全国協議会（中同協）」を設けています。

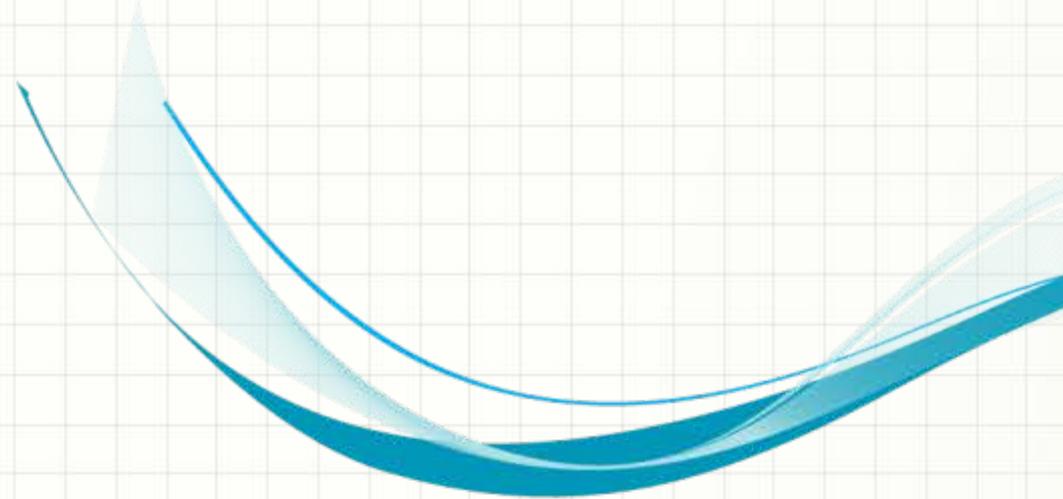


**全国：4万4千名**  
**高知：220名**  
**（1986年設立）**



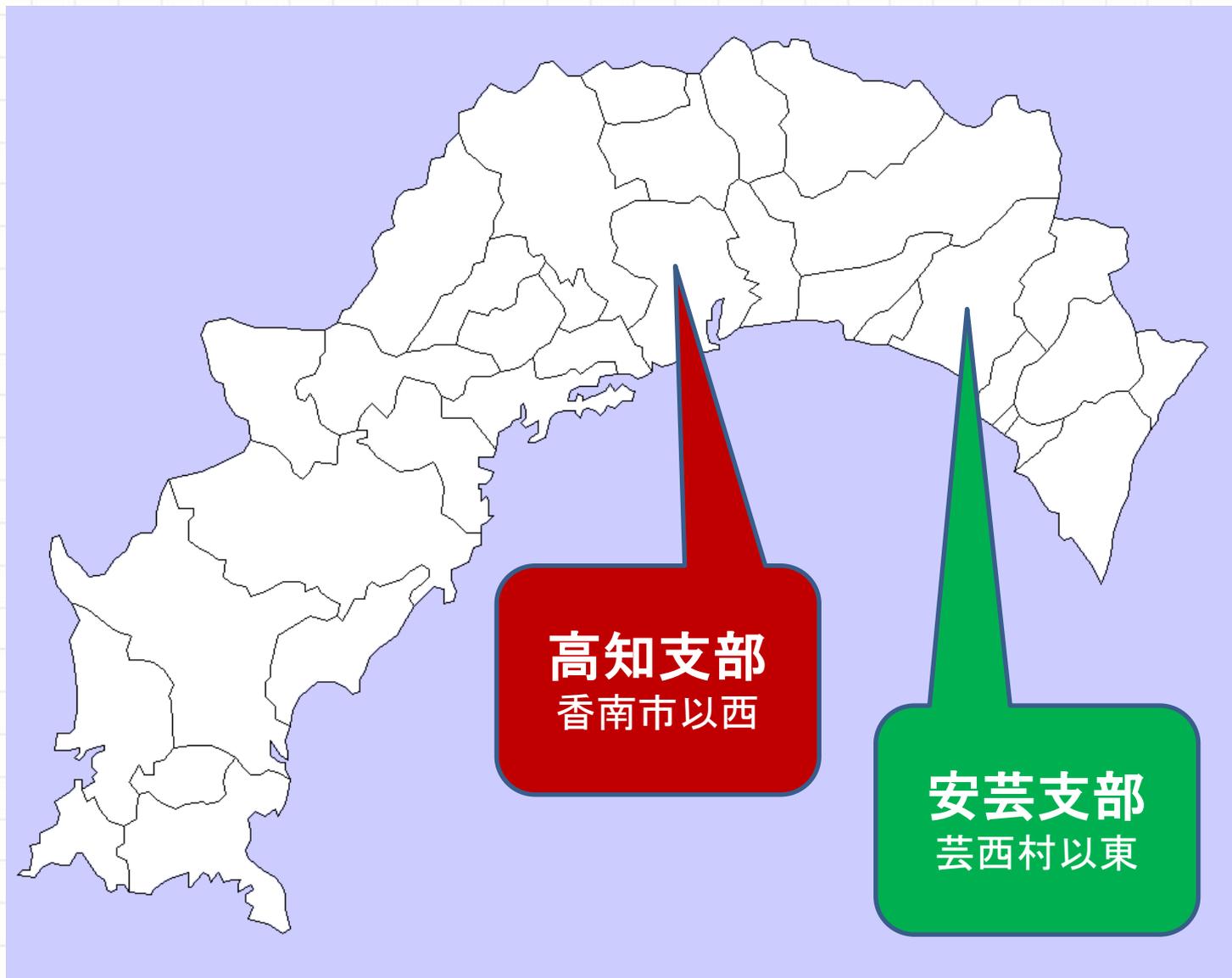
全国から1157名が参加し総会議案を確認する

**全国大会**



## 2. 高知同友会の概要

## 2.1 高知の支部



## 2.2 高知の委員会

- 経営労働委員会
- 政策企画委員会
- 広報・情報化委員会
- ディーセントワーク  
(障害者)委員会

「高知らしい食品研究会」  
では、土佐FBC卒業生と  
連携した例会を開催。



経営指針研究会



役員研修会

## 2.3 高知同友会の学びの体系



# 日本経済新聞(1月5日朝刊)一面に 女性が働きやすい会社として紹介され た「ファースト・コラボレーション」(高知 同友会理事)

加入期間延長のイメ  
利回りは年1%、受取  
期間は70歳から10年

年金額が3  
増える

掛け金の支  
25%長くな

支払・受取額

20歳 30 40

掛け金は原則、企業カ  
担し、加入者が運用方法  
を選ぶ。運用成績次第で  
受取額は変動するが、加  
入期間が延びれば受取額  
を増やしやすくなる。

ホテルオークラはトル  
コに進出する。1月中旬  
コに進出する。1月中旬  
コに進出する。1月中旬

知名度向上へ「5ホ

「私は来年」「私は再  
来年を目標しています」  
高知県南国市のオプイ  
ス。仕事を終えた女性が  
集まり、出陣時期の相談  
が始まった。職場で断休  
が取れないようにする  
ための「社会参加型」

## 働きかた Next 日本経済新聞 2015.1.5 イクボスのススメ



保育園などに子どもを迎えに行ってから  
再び職場に戻って働くファースト・コラ  
ボレーションの社員ら(高知県南国市)

### 育児社員が効率高める

日本の共働きは106 編世界より300万世帯  
5万世帯。1980年の  
1.7倍に増え、専業主  
い無念、世帯所得の低迷  
の思いは切実だ。企業も  
「新海に引越すなら

#### 外交」明暗



#### 職磨く



#### り始動

財政再建計画の  
化する。経済財  
利明経済財政・  
閣議員で構成す  
も新設する。

#### 後とは?

改革は絶仕上げ  
存に家庭向けの  
争には大手電力  
60年ぶりの大  
なるのか。

#### 輸出

型商用車の  
Dトラック  
を輸出。ア  
産規模を保

### 3. 自己紹介

- YOSAKOIソーラン祭りの学生創設メンバー  
道庁・県北海道事務所・企業の応援で実現。
- 津市では大学生と夏の商店街イベント開催。
- 高知県庁特別職知事秘書  
知事への学生インターン導入を提言。  
県で地域支援企画員制度づくりに参加。
- 中小企業家同友会事務局  
地元の中小企業を知る講座を、27年度後  
期に高知大学で計画中。

# 高知の中小企業を知る講座授業計画

## 県内の中小企業の現状と展望を理解する

- 27年度後期(10月から)の授業
- ベテラン経営者、青年・女性経営者、社員と経営者などの講師に中小企業の多彩な姿を知ってもらおう。
- これからの進路を地域の足元から考えて担う人材を育てる。

2015年新春交礼会(1月27日夜)

## 地方創生における大学の役割

～課題先進県の再生を目指して～！

●講師 受田浩之氏

100人以上のメンバーが講演を聞き、  
12テーブルに分かれ、  
「大学に何を期待し、大学との係わりをどうい  
かせると思いますか」をテーマに討論。

## 参加者の感想文より

- KICSは地域交通でも地域、運行会社、大手のノウハウを取りまとめる役割を期待したい(30代 経営者)
- 地域の宝を大学で発掘してほしい(30代 経営者)
- とにかくチャレンジし、前向きに取り組んでいる姿勢を共にしたい(40代 経営者)
- 嶺北地域で大学のサテライトオフィスがあると知らなかった。関係をもちたい(40代 経営者)
- 紙業界として地域協働学部には期待したいし、何ができるか考えたい(40代 経営者)

## 参加者の感想文より

- 高知は田舎だから仕方ないといった負け組の議論が大勢なので、その流れを一緒に変えてもらいたい(40代 経営者)
- 中小企業と大学が連携して、学生たちにいるような地域の企業の実情を知っていただきたい(50代 経営者)
- 大学生が高知に就職する流れをつくりたいと期待でワクワクしている(50代 経営者)
- 企業と学生、地域と学生の相互理解を進め、県内就職率アップをしたい(30代 教員)

## 参加者の感想文より

- 企業と学生、大学が共にオープンにすることで歩み寄っていききたい(20代 会社員)
- 他県出身で高知大学卒業生として、大学と地域の連携はうれしいです。ただ、中小企業と大学の学生の結びつきはまだ弱い感じがするので、何ができるか考えてみたい(30代 会社員)
- 高知大学のすばらしい取り組みを高校生・中学生の自分の子どもに伝えたい(40代 会社員)

## 参加者の感想文より

- 顕在化した課題の背景と真因を追及して潜在的な課題発見に努め、大学の強みである調査分析力をいかした展開を進めてほしい(30代 団体職員)
- 理論と実践を共存できる取り組みが進むよう手伝いをしたい(30代 団体職員)
- 小さく動いても誰も気づかないので、大学のブランドを高め、広報も企画も大きく広げることが意識してほしい(30代 専門職)

## 参加者の感想文より

- 大学への期待は大きいですが、県内の高校生に情報が伝わっていないように現場を見て思うので、有効な宣伝をしてほしい(40代 専門職)
- 説明会だけではどんな企業が高知にあるか分からないので、企業と交流できる会にもっと参加をしたい(20代 学生)
- 大学生たちに企業診断をしてもらうような仕掛けで企業と学生の距離を縮めたい(40代 事務局)